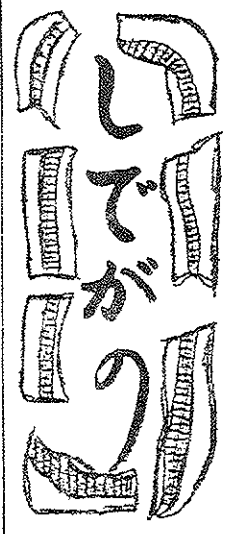


恐るべき食品公害



しでがの通信
第 50 号
羽津小 P・T・A
編集発行
発行所 羽津小学校

食品公害について

森 玄 佳

目次

食品公害について	1
リジンについて	2
P.C.B.防癌剤、洗剤について	3
冬休みの生活について	4
三瀬地区小中学校児童生徒の 補導に関する申し合せ事項	5
我が家の教育について	7

5. 食器

(A) 陶器

赤黄等鮮かな色彩のものは注意すべきで、鉛、カドミウム、亜鉛、銅等が溶出するおそれがある。

(B) アルミニウム

酸化アルミニウム、ニウムの被膜をもつアルマイトが安全です。

(C) ホーロー鉄器

内面白色の物を選ぶべきで、色彩の奇麗なものは有害物質溶出のおそれがある。

(D) 合成樹脂

ポリエチレンその他高温にて、フタル酸溶出、血液毒発癌性が問題です。

水筒、碗、箸、茶碗等は一考すべきで、水筒等アルマイト製が適当だが、市販されていない。

消費者の自覚

先日、消費者の食品に関する教育自覚に待たねばならない実例がありました。

あるスーパーで、梅干を買いつ食したら味が変わり、鮮紅色なの

食品公害に就いては、十数年前より識者から警告が発せられて参りましたが、多くの被害者が出て始めて社会問題になり、与論が喚起されて参りました。

食品公害は、次表のように分類されます。

1. 農業

(A) 化学肥料

土壌を酸性化し、有害重金属を含むおそれあり。

(B) 殺虫剤

黒点病、癌腫病、ウドンコ病に対するダイセン、ゲンクメイト等。

(C) 殺菌消毒剤

黒点病、癌腫病、ウドンコ病に対するダイセン、ゲンクメイト等。

(D) 除草剤

CCPP、クサトール等。

(A) 着色剤

多数あるが、総て肝腎等に長期に亘り使用する場合有害。

3. 包装材

(A) 塩化ビニール

モノマー溶出、微量でも長期に亘れば、危険である。

(B) ポリエチレン

容器に直接食物を包んだり入れたりする事は危険で、容器が事前に水洗されているかが問題。

(C) 紙製

内面を塩ビ等で被覆加工してある。

4. 合成洗剤

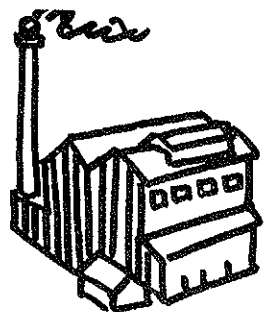
使用後の水洗不十分と、十秒以上放置すると残留し易い事に注意。

で業者に問い合わせたが、一時無着色の物を出したが、売れ残るの中止したとの事で、業者としては、作業員も手や衣服が汚れるので嫌うし、加工賃も高むので、無着色の物を売りたいのだがとの事でした。生肉類、ハム、ソーセイジに着色、発色剤が使っているのも、一半は消費者に責任ある事で、先日の新聞に、名古屋の或る生協で総ての添加物を入れないハム類の製造に成功したとありましたが、一般に、我々消費者には入手し難く、粉末非合成洗剤の入手難と共に、流通機構の改善と、大手の寡占体制打破が必要となりましょう。

又、現在の大量生産、大量消費時代でも生鮮食品のマスプロダクション方式は間違いで、長期保存がどうしても必須条件となり、パックに入れる関係と容器からの溶出が問題となります。

以上の観点から、コールドチェーンの活用が最良のように考えますが、これも経費やパックの問題が残ります故に、生鮮食品の加工販売は、小規模の企業に行わせるべきで、大業者やスーパーのこれ以上の進出制限と、小企業の保護育成が、社会問題上からも必要と考えます。

又、食品公害は添加物のみではなく、農薬、染料、塗料に含まれる



るPCB、重金属、合成洗剤、工場、病院、一般下水、産業廃棄物、雨水と共に田や川や海に流れ、農作物(特に米)、魚介類がこれを摂取して、体内に濃縮し、これを食べた人間がしらずしらずの内に体内に蓄積し中毒する。

私たちの体内に取り込まれる有害化学物質は、八〇%が経口的に入るといわれ、食品に含まれる多くの化学物質の累積作用、加算効果、発癌性、催奇形性も証明されています。又、着色剤、発色剤は有害無益の代物で、色で食べる日本人の悪癖を逆用して使われている点が多く、鮮度を保つために、出荷前に農薬をかけたたり、果物の見栄を良くするため、パラフィン加工したりするのは、商業主義と共に、戦後の日本人の精神の荒廃に由来するもので、道徳心の欠如の現れであり、監督官庁の業者との癒着と共に、嚴重監視しなければならぬと思います。

先頃、学校給食に、リジン添加のパンを給することについて、強い反対が起り、所によっては、給食に供することを中止する結果が出た。

ところで、リジンは必須アミノ酸の一つであり、食肉や卵などの蛋白質を構成するアミノ酸であるから、普通の食事から補給されている。

WHOの資料によると、十歳十才位の男児で、一日のリジンの必要量は、体重一kgについて六〇mgとなっている。十才位の男児の平均体重は三十六kgであるから、一日の必要量は大体二・一gである。

一方東京都の学校給食調査に於て、一食当り一・五gのリジンが含まれていると発表されているので、食事の内容は、地域によって相当の差があると見なければならず、東京都の例で全国的な判断は無理かも知れないが、おおよそ右の例を引用すれば、学童に対するリジンの一日必要量は、学校給食によってその七〇%は充たされていることになる。特殊な例を除けば、おおよそ必要量のリジンは、日常の食事から補給されているのでは

ないかと推定される。リジンが問題になるのは、その中に含まれている、3・4ベンツピレンである。

ベンツピレンは、有機物の燃焼するときに微量ではあるが、生成されるので、大気、土壌、河川水、農作物などに、広く分布している。特に、タバコのけむり、排気ガス、工場排煙などに多く、食品では、加熱、燻煙された食品に多く検出されている。大気中のベンツピレンは、都会と田園地帯とは、百倍以上の差があるし、冬季は夏季より多い。高速道路に沿った土壌には多く、その附近で採れた野菜類には、多いとされている。

果実、野菜、穀物は、生産地の条件によって大きく左右されるが、キャベツ、ホーレン草は、比較的高い数値を示し、その他カツオブシ、ピフステキ(木炭で焼いたもの)などにも含まれているとの報告も見られる。

現在、リジンは天然物を原料として醸酵法で生産されているので、当然微量のベンツピレンが含まれている。その分量は、相当の巾があるけれど、〇・〇一〜〇・一P.M.の範囲であり、大部分のもの

リジンについて 梅本 金五

我が家の教育方針 — 母親の提言 —

我が家の教育について

樋口乃夫 子

「家庭教育とは、いうまでもなく、一個の人間を育み作る、尊い作業である。」

ある書物の中で、読んだ記憶があります。実にその通りだと、その時私は、感銘を受けました。

教育ママには、ほど遠い私ですが、我が子には、常識を欠く事のない、子どもらしさを、特に望んでおります。うそのない、あけっぴろげな、明るい性格の、子どもに、育ててほしいと、願っています。

家庭で、学校の事、友達のことをよく話して、くれます。子どもの話を、聞きながら、私は、子どもと同じ立場で、意見やアドバイスを、してやるように、しています。そして、子どもが、何でもいってくれるように、しむけてきました。そうした中に、親と子の交流が、あるのではないでしょう

四年と六年の男の子です。案外、何でも話して、くれますので、一応安心してはいますが、いつ、どこで、どのような縁にふれ、悪い思いつきを、しないでほしいと、心配しますが、やはり子どもを、信じて行きたいと思えます。

尚、おこがましいようですが、大海のような、激愛の深みをもつて、子どもに接して、行きたいと念じております。

精神離乳を 出来る丈早く

柏木隆子

小学生も高学年になると、親の意のままにならず、途方にくれることがしばしばある。きびしすぎないか。あまやかしすぎでないか。などことあるごとに迷ってしまふ。

中学生、高校生ともなると親に対する批判もきびしく、家庭における精神面の指導も両親だけでは

力およばない。そこでわが家では、できるだけ多くの友人をもたせその家族や又親の友人など年令的にもできるだけはびろい人々との接触によって、子供自身が正しく世の中を判断して生きてゆくことをねがっている。

長女は大学一年であるが、私共との意見の対立、不満を私の友人に訴え意見を求めているようである。親子の場合遠慮がないから、つい余分なことまで云い感情的になるが、少し距離をおいた人の云われることは、案外ストレートに受け入れるようだ。その友人が、「昔は十五才で元服し、一人前の大人としてみとめられたのに、今の若い人達は就学年数が長くなつたので親にやしなわれる期間が長く精神的になか／＼自立出来ない。今の社会構造からすれば経済面はやむをえないにしても、精神面ではもっと早く親から解放されなければいけない。親がいつまでも心配しなくても子供は社会に教育されるから、親はそれを見守ってやりなさい。」とアドバイスされ、自分では気をつけているつもりでも、人からみると親馬鹿もいところだと反省している。



教育とは 草川孝子

パパとおかあちゃんは我が子の教育について、いまだかつて一度も話し合ったことがない。

パパはだんまりやで、教育、躾に關しては全くノータッチ、おかあちゃんには気が掛りながらも、これといった教育方針もなく、これ又親の身勝手教育である。だから教育書の中に見られる父親像、母親像からすれば失格者であり、子供にとつては、しごく迷惑であり、又とまどう事も多いだろう。

だが娘は十四年、むすこは十二年の間に確実に成長した。子供をとりまく万物の教えとはごくみを受け、良い事も、良くない事も身につけながら……。

その間、貢献した親の力は微々たるものであるが満足感はある。

パパは父親の権威を持ち、子供からの信望も厚い。おかあちゃんは自然で素朴な愛情をもって、幸せな家庭を持ち続けているのだから。さあ、本当の教育はこれからだ。いや教育されるのかも知れない。子供達と共に、迷い、悩み、そして学んで、やがて一人立ちしようとする時、もし道にまよい、先を見失ったならば、永遠に消え去る事のない灯をともし、道しるべになつてやる事が出来るだろう。

その時はパパとおかあちゃんとい
うちぐはぐな存在ではなく、一對
の人生の先輩者、おやじさん、お
ふくろさんとなっていたいもので

小学校のころ

言 詞 照 代

わたしがかって通っていた小学
校は、児童数が三百名を少し上回
るくらいの小規模校でした。その
ころは、教室の床板が壊れて穴が

あいていたり、至る所
に落書きがしてあった
りしたものでしたが、

その古い校舎も落書き
と共に壊され、大きな
窓ガラス張りの鉄筋校
舎になってしまいました
た。そして、小学校の

近くの公民館、役場が
改築され福祉センタ
ーが設置されて、十数年

の間に小学校の周囲は
すっかり変貌してしま
いました。しかし、み
んなが「センダンの木

」と呼んでいた大木は、
今も昔のままリンとし
た勇ましい、そして豊
かな姿を保ち続けてい

回 想 の 小 学 校 時 代

ものでした。毎日給食後二十分ぐ
らいの休み時間があり、その時に

ある。
教育は小さい喜びと大きい努力で
ある。

は皆運動場へワフツとかけ出して、
様々な遊びをしました。何と言っ
ても、現在のように遊び道具も豊
富ではなかったもので、自分の体で

遊びを見つけたものでした。
教人が馬になってたてに連なり長
馬飛びをしたり、かんけりをした

り、うず巻き遊び、など体をぶつ
け合った遊びが、多かったように
思います。
昼の休み時間だけでなく、放課後
も日が暮れるのを忘れるほど、み
んなで遊んだことを覚えています。
あのころいっしょに遊んだ友も、
今は社会人となり、また父となり、
母となつて、その人各々の道を歩
んでいきます。わずか十数年の間に、
子供の遊ぶ内容も、すっかり変わ
ってきたように思います。時代と
共に遊ぶ道具も種々出回り、遊び
道具の豊かさ、そして遊び場の少
ないことが、今の子供達に遊びの
工夫を、不必要にさせているので
しょうか。もしそうなら、遊びを
体で見つけ出す面白さ、楽しさを
味わうことも少ないと思います。
物の豊かな時代に生まれた子供達
が、物の豊かさに負けずに創造豊
かな遊びを、自分たちの中から作
り出してほしいと願わずにはいら
れません。

ですく さいと



☆「危険な食品」や「うそつき食
品」に対する告発が盛んになつ
てきた。無責任な高度経済成長
に対する手放しのオプティミズム
の中で、蓄積されたもろ／＼の
ひずみが、交通戦争や、大気汚
染や、河川汚染、地盤沈下とい
った怖ろしい形でいっせいに顕
いかり、気がついた時には、
これらと同類の科学技術の生ん
だ産学の息子が、何くわぬ顔で
私たちの体内にまで、浸入して
しまっていたのである。

三俣病やイタイイタイ病、スモ
ン病とかぞえればきりがなが
その他、夕焼小焼の赤トンボや
螢やの田園風物詩を一掃し、野
鳥の類まで斃死させて自然のバ
ランスを壊しつつある農薬の大
部分や、現在厚生省が許可して
いる食品添加物（人工着色料、
漂白剤、防腐剤、甘味料）等も
気を許す事が出来ず一日三度の
食事に八十種類位の添加物を摂
っている我々の場合、体内でお
こる、それらの相乗作用は全く
未知の危険性をはらんでいる。

そこで、今月は「食品公害」を
特集として、梅本、長谷川両校
医先生と、森文化部長に、それ
ぞれ専門的な立場から、おそる
べき食品公害についてご執筆い
ただきました。今後の食生活に
大いに役立つ事と思います。
お忙しい中を、原稿をいただき
ました先生方に、厚くお礼申し
上げます。

☆さて、編集室もセカンドギヤ
に入ったと思うまもなく、二学
期は多忙に、足早やにすぎ、今
日も塵勞をかこちながら日が暮
れました。近頃多忙を口にする
自分に嫌悪を覚えます。自ら不
用意に雑事の中に入りこんでい
るきらいもあり、時としてアン
真理子風に「忙しい」という字は
心が亡ぶとかくのね」とつぶや
いたりしています。

☆ともあれ、編集が遅れた上、印
刷屋が年末のかき入れ時で遅れ
遅れて、四十九号、五十号の間
隔が、くっついてしまいました
事をお詫び申し上げます。

☆「みんなに親しまれる広報」を
目指して来年はまよめの編集を
したいと思つて居ります。どう
か御意見、御感想をお寄せくだ
さい。「みんなの声」の箱にご
投稿いただければ結構です。

☆それでは、みなさま、どうか佳
いお年をお迎えください。